

令和2年度 第2学期始業式 式辞

R02.08.20

みなさん、おはようございます。

校長の小島です。

今日から、第2学期が始まります。今日こうして、全校生徒の皆さんとともに、無事に2学期を迎えられることをたいへんうれしく思います。今回も残念ながら放送での始業式となりました。皆さんの顔が見えない中でのお話となりますが、しっかりと聞いてください。

さて、今年の夏休みは、みなさんにとってどんな夏休みだったでしょうか。例年と比べてわずか12日間という短い夏休みでしたが、1、2年生の人は部活や練習試合、そして3年生の人は、代替大会や進路を決める面談など忙しく過ごしたことと思います。私も、いくつかの代替大会を見せてもらいましたが、いろいろな種目の代替大会で、本校の生徒の皆さんが活躍してくれて、大変うれしく思います。

今、私たちは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、マスクの着用や手洗い、エアコンをつけて換気する、人と一定の

距離をとるなど、これまでには考えてもみなかったことに気を付けながら、日々の生活をしています。そこで、この時代を生きる私たちにとって、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大が社会や人間の行動に与えた影響について考えることが重要なことだと思います。そのことによって、私たちが、これから予測が難しい社会を生きていくうえで、今後どのように行動しどのように考えたらよいかを探るためのヒントを得られると思います。

人類の歴史の中で、感染症が世界の歴史を変えたり、国を亡ぼしたりということがありました。そして、今まさに私たちは、このような時代を生きる者として、どのように考えるべきか、そしてどう行動するべきかを、歴史から学び考える必要があります。感染症については、これまでたくさんの本が出されていますが、たとえば、ウィリアム・マクニールの『疾病と世界史』や、アルベール・カミュの『ペスト』、中高生向けに書かれたものとしては、岡田晴恵の『人類 vs 感染症』などがありますので、読んでみるといいのではないのでしょうか。

さて、それでは、2学期始業式にあたってのお話にうつりますが、新しい話をする前に少し振り返りをしておきたいと思います。1学

期の終業式では、「内なる自分を育てる」というテーマで三つのことをお話しました。一つ目は、本を読む、二つ目は自分のことは自分でする、そして三つ目は、家庭の中で役割を持つ、という三つでした。どれくらい実践できたでしょうか。この三つは、2学期になってからもぜひ続けて「内なる自分を育てる」努力をしてほしいと思います。

それでは、これから2学期始業式にあたってお話をしたいと思います。テーマは、「過ごしやすい学校づくり 大商づくりに一人一人が貢献する」ということです。

先ほどもお話ししましたが、今、私たちは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、真夏の暑い最中にマスクを着用する、エアコンをつけて換気する、人と一定の距離をとるなど、これまでは考えてもみなかったことに気を付けながら、日々の生活をしています。今まで当たり前で過ごしてきたことが、その通りにできない不自由な生活を強いられています。例えば、学校の登下校の電車の中では、友達といろいろ話をしたいのに静かに乗っていないといけないとか、昼休みのお弁当は友達で固まって食べたいのに、みんなが前を向いて黙々と食べなければいけないなど。ですから、今の学校生

活は、これまでになく不自由で制限されたものになっているということ
ことです。

しかし、私は、このような時こそ、皆さん一人一人の力で、皆さん
一人一人の心がけで、この大津商業高校を少しでもすごしやすい、楽
しい時間を過ごせる場にしてほしいと思います。どのようなことに
心がければよいか、については皆さん一人一人が考える必要があり
ますが、今日は私から、3つお願いをしたいと思います。

まず一つ目は、「挨拶をする」ということです。これは、友達やク
ラブの先輩、先生方に挨拶をするということはもちろんですが、それ
以上にいつでも、どこでも、だれにでも挨拶できるようになってほし
いということ。特に外部から来られたお客様に対しては意識し
て挨拶をしてほしいと思います。それは、皆さんが挨拶することによ
って、大津商業に来られた人が、すがすがしい気持ちで帰っていただ
けることになるからです。そうすると、この大津商業で生活している
皆さんも、すがすがしい気持ちになれるのです。ぜひ、いつでも、ど
こでも、だれにでも挨拶するようにしてください。

二つ目は、「自分から動く」ということです。口で言うことはたや
すいが、実際に行動に移すことは難しいということは日常よくある

ことです。しかし、私たちの日々の生活を見ると、誰かが動いてくれたおかげで助かっている、快適になっている、便利になっているということがたくさんあります。そしてこれまでの人生を振り返ってみても、皆さんは生まれてからこの方、いろいろな人に育てられて今日まで成長してきました。その成長の陰には親をはじめたくさんの周りの人の行動や働きかけがありました。皆さんの代わりに、そして皆さんよりも先回りして動いてくださった人がいたから、こうして無事に大きくなりました。もうそろそろ自分から動くようにしましょう。

特に学校はたくさんの方が生活する場です。クラスにおいては先生に言われる前に、自ら動く。そしてクラブにおいては顧問の先生に言われる前に、先輩に言われる前に、自ら動く。家では、親から言われる前に自ら動く。皆さん一人一人が、人にしてもらうのではなく自分から動くことで、助かる人がいます。喜ぶ人がいます。すると、お互いに過ごしやすい学校になっていくのではないのでしょうか。

三つめは、「感謝すること　そしてその気持ちをありがとうと言葉で表す」ということです。誰かのおかげで助かったらありがとう。誰かのおかげでうれしかったらありがとう。相手に感謝することで、相

手の人への尊敬の念も生まれ、相手の気持ちを和ませてくれます。そうすることで、お互いに過ごしやすい学校づくりにつながるのではないのでしょうか。

この2学期は、1年で最も長い学期です。いつも通りの長い2学期を過ごすためには、まずもって皆さん一人一人が、感染防止対策に努めることが大切です。そのうえで、今お話しした「挨拶する」、「自分から動く」、「感謝する ありがとうと言葉で表現する」この3つを心がけて、皆さん一人一人の力で、この大津商業高校を過ごしやすい学校、楽しく過ごせる場所にしてほしいと思います。

それでは、以上で、2学期始まりにあたってのお話を終わります。